

会 議 録

会 議 名	令和５年度第１回野田市廃棄物減量等推進審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	議案第１号 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）について
日 時	令和５年７月２５日（火） １４時から１４時３０分まで
場 所	野田市役所８階大会議室
出 席 委 員	会 長 木村 吉郎 副会長 林 元夫 委 員 山本 和也 小林 明雄 渡邊 康子 澤田 修 天野 久美子 石原 恵美 加藤 栄作 石原 和子 五百川 和家恵 芝崎 誠 福田 正 石原 富美子 岩本 光善 根本 富雄 大森 俊生 柳沢 享二 藤井 愛子 四方 薫 小川原 喬 池端 えり子 遠藤 裕
欠 席 委 員	澤田 好子 石山 美代子 西村 久行
事 務 局	市長 鈴木 有 環境部長 柏倉 一浩 環境部次長兼清掃計画課長 小沼 京治 環境部参事兼清掃管理課長 大月 聡 環境部主幹兼清掃管理課長補佐 岡安 雄一 清掃計画課課長補佐兼ごみ減量係長 宮本 武志 清掃計画課計画係 永野 洋 清掃管理課収集係主査 田中 一郎 清掃計画課ごみ減量係主任主事 小林 司幸
傍 聴 者	３名
議 事	令和５年度第１回野田市廃棄物減量等推進審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。

1 開会

宮本清掃計画課長補佐

令和5年7月25日（火）午後2時、開会を宣言した。

2 会長挨拶

3名から傍聴の希望があり、許可したことを報告した。

【会長挨拶】

宮本清掃計画課長補佐

会議録作成のため、録音機を使用することについて了承を得た。

会議の成立を報告した。

新任委員について紹介した。

3 市長挨拶

【市長挨拶】

4 諮問

市長が諮問書を読み、会長に渡した。

会長が市長から諮問書を受領する。

5 議事

会長

議案第1号の説明を求めた。

永野清掃計画課計画係長

議案第1号について説明をした。

会長

議案第1号に対し、質問・意見を問うた。

A委員

新型コロナウイルス感染が3年余にわたって続き、私達の経済、社会経済活動が著しく停滞を余儀なくされ、生活も制限されてきた。

新型コロナウイルス感染症のために、出されるごみについても、推進員として、ごみの分別状況等の確認が十分できないまま整理してきた。

現行の一般廃棄物基本計画の中間見直しで、当面の減量目標を20%に変更したが、現状は10%程度の減量状況に留まっている。

ごみの減量が野田市の重点課題ということになっているが、ごみの減量に取り組むに当たり、野田市の可燃ごみの組成を見ると、水分を含んだ^{ちゅうがい}厨芥ごみが33%、紙類32%、草木が13%などとなっている。

可燃ごみの焼却は、濡れたままだと灯油を燃やして水分を蒸発乾燥させてから処理する手順になっているため、水分を約44%も蒸発させていることになっている。また、水分を除いた可燃ごみが51%で、あとは灰が若干出る。

燃やす前の可燃ごみの組成では、紙類が47%、草木が27%で、^{ちゅうかい}厨芥類は乾燥させると8%しかない。そのため、基本計画の重点施策をベースとし、水切りの実施と紙ごみの資源化、食品ロスの削減に取り組めばごみは減らせるということになる。

また、ごみ処理システムの整備拡充についても新清掃工場や、最終処分場、生ごみ処理施設などの整備については、非常に難しい課題ではあるけれども、取り組まざるを得ない課題であると考えている。

現行の重点施策を柱とする基本計画は、まだ、道半ばの感があるので必要な事業を更に盛り込み、継続発展させる方向で作成することが大切ではないかと考えている。

会長

議案第1号を継続審議とすることを問うた。

【異議無し】

会長

ありがとうございます。そのように決定させていただきます。

会長

閉会を宣言した。